

学位申請の手引

(論文博士)

徳島大学大学院創成科学研究科

[総合科学部事務課学務係]

[理工学部事務課学務係]

[生物資源産業学部事務課学務係]

論文博士の学位請求手続

学位を請求される方は下記事項を留意の上、申請書類を作成し、紹介委員を通じて、創成科学研究科長に提出すること。

なお、学位審査は、予備審査を経た後申請できるものとする。

記

- 1 学位請求の資格要件(学位規則実施細則第8条第2項)
論文を提出して学位を請求することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。
 - 一 徳島大学大学院創成科学研究科に所定の年限以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた後退学した者
 - 二 大学院修士課程又は大学院博士前期課程を修了後、原則として4年以上経た者
 - 三 大学又は旧制の専門学校を卒業後、原則として7年以上経た者
 - 四 短期大学又は工業高等専門学校を卒業後、原則として9年以上経た者
 - 五 前各号のほか、創成科学専攻教授会において、学位請求の資格を有すると認められた者

- 2 学位請求の時期 4月又は10月

- 3 論文提出による予備審査
 - ① 紹介委員
申請者は、論文内容に関連ある研究分野の本専攻研究指導教員を紹介委員として選ぶものとする。

 - ② 申請書類
 - 一 論文予備審査申請書(様式2) 1部
 - 二 論文目録(予備審査用) 3部
〔審査委員が4人以上又は協力者がある場合は追加〕
 - 三 学位論文の内容梗概(A4縦型 50頁程度) 3部
〔審査委員が4人以上又は協力者がある場合は追加〕
 - 四 参考論文(学術雑誌に投稿中のものは、その原稿の写し) 各3部
〔審査委員が4人以上又は協力者がある場合は追加〕
 - 五 履歴書(様式6) 1部
 - 六 最終学歴の卒業又は修了証明書(予備審査用) 1部

 - ③ 申請時期 学位論文提出時期の三月以前

- 4 予備審査が終了したときは、その結果を申請者に通知する。その結果が学位論文の審査の請求に値すると議決した場合、学位請求ができるものとする。

- 5 学位請求に必要な書類
 - 一 学位申請書(様式3) 1部
 - 二 誓約書(様式4) 1部

- 三 学位申請調書(様式5) 1部
- 四 履歴書(様式6) 1部(タイプ又はワープロ)
- 五 論文目録(様式7) 1部(タイプ又はワープロ)
- 六 博士論文【審査用】 3部[審査委員が4人以上又は協力者がある場合は追加]
サイズ：A4 タイプ又はワープロ 片面又は両面印刷
表紙：色は自由
背表紙：縦書き
- 七 論文内容要旨(様式8) 1部(タイプ又はワープロ)
- 八 論文目録に記載の参考論文(主論文, 副論文) 各3部(各1部セットにすること)
[審査委員が4人以上又は協力者がある場合は追加]
- 申請者によって執筆され, 学位論文の主要な内容が記述された公刊論文又は公刊されることが証明された論文原稿をいう。
 - 原則として, 申請者が主として寄与した研究成果を申請者自身が執筆し, 権威ある学術雑誌に投稿して査読の結果受理された主論文が3報以上あることを必要とする。
 - 公刊論文として, さらに数編程度の副論文があることが望ましい。
- 九 共著者の承諾書(様式9) 各1部
主論文が申請者を含む複数の著者によって執筆された共著論文の場合には, その論文の成果が主として学位申請者が寄与したものであり, 主要部分が申請者によって執筆されたものであることをすべての共著者が署名捺印の上, 証明しなければならない。
- 十 最終学歴の卒業(修了)証明書[予備審査時に2部提出の者は不要] 1部
- 十一 写真(手札型, 脱帽, 上半身, 最近6か月以内に撮影したもの) 1部
[手札型のサイズは, タテ9センチ・ヨコ6.5センチ]
- 十二 学位論文審査手数料 57,000円(申請時に経理係へ納付)
- 十三 学位論文の徳島大学機関リポジトリによる公表申請書等 1式

6 学位論文の公聴会

論文審査の段階において, 公聴会を開催する。

7 学位論文の試問

- (1) 専門科目については口頭で, 外国語については筆答で行う。
- (2) 外国語の試問は, 英語について行う。
- (3) 外国語の主論文又は申請者自身が発表した国際会議論文がある場合には, 外国語の試問は免除する。

8 学位授与の時期

専攻教授会で合格した日付とする。

9 学位論文のインターネット公表について

公聴会終了後，保存及びインターネット公表用としてプリントアウトした学位論文及び電子データ（PDF）を下記期日までに学務係へ提出する。

10月論文提出者については，11月第4木曜日，
4月論文提出者については，5月第4木曜日までに提出すること。

10 照会先

審査を希望する学位の専攻分野別に担当係が異なります。

○博士（学術）

徳島大学総合科学部事務課学務係 (088) 656-7108

○博士（工学）

徳島大学理工学部事務課学務係 (088) 656-7317

○博士（農学）

徳島大学生物資源産業学部事務課学務係 (088) 656-8020

【表紙記入例】

- 1 履歴書，論文目録，論文内容要旨を
セットにしたもの
- 3 参考論文

○○に関する研究

履歴書
論文目録
論文内容要旨

徳島太郎

参 考 論 文

徳島太郎

- 2 学位論文（例：10月提出者）

〔和文の場合〕

○○に関する研究
二〇二三年十一月
徳島太郎

○○に関する研究

2023年11月

徳島太郎

〔英文の場合〕

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○

November 2023

Your Name

※学位論文に学会等への投稿論文を使用する場合は，学会の規定（規則）に十分留意すること。

[予 備 審 査 申 請 書 類]

< 記 入 例 >

様式 2 < 記入例 >

令和 年 月 日

徳島大学大学院創成科学研究科長 殿

本人の署名
印刷不可！！

署名.....

論 文 予 備 審 査 申 請 書

このたび、徳島大学大学院創成科学研究科の博士学位審査に関する内規第 16 条の規定に基づき、論文予備審査を実施くださるよう関係書類を添えて申請します。

印刷不可！！

(紹介委員署名)

【注】 黒色のボールペンを使用し、自筆で署名すること。

記入しないこと！

別表（記入例）

（予備審査用）

論文目録					
報告番号	乙	第	号	氏名	戸籍のとおり ○ ○ ○ ○
学位論文題目	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究				
参考論文					
主論文					
主論文とは、ただ1人の学位論文に用いられるものでなくてはならない。そのため、学位申請者の単著又は筆頭著者であることが望ましいが、特別な事情によってそうでない場合には、前条の共著者の承諾書を提出させるとともに、審査委員はその事情を専攻教授会で説明するものとする。 【博士学位審査に関する内規第10条】					
副論文					
副論文とは、学位申請者が参加した研究の成果を共同執筆した同種の公刊論文をいう（単著又は筆頭著者であることを問わない。）。申請者が筆頭著者として執筆し、著者自身が発表した国際会議論文なども含む。 【博士学位審査に関する内規第11条】					

注) 本学大学院創成科学研究科の博士学位審査に関する内規第25条を参照し、誤りのないように記載してください。

様式 6 (記入例)

履 歴 書

記入しないこと!

報告番号	乙 第 号			
(ふりがな) 氏 名	**** * 〇 〇 〇 〇 戸籍のとおり	生年 月 日	昭和 平成 年 月 日 <u>(外国人留学生は西暦)</u>	男 女
本 籍 (都道府県名)	〇〇〇県			
現 住 所	徳島市〇〇〇・・・ (住民票の住所ではなく、 <u>今</u> 住んでいる住所)			
<p>学 歴</p> <p>平成〇〇年〇〇月 〇〇県立〇〇高等学校卒業</p> <p>平成〇〇年〇〇月 〇〇大学〇〇部〇〇学科入学</p> <p>平成〇〇年〇〇月 〇〇大学〇〇部〇〇学科卒業</p> <p>平成〇〇年〇〇月 〇〇大学大学院〇〇研究科博士前期課程〇〇専攻入学</p> <p>平成〇〇年〇〇月 〇〇大学大学院〇〇研究科博士前期課程〇〇専攻修了</p> <p>研究歴</p> <p>平成〇〇年〇〇月 〇〇大学工学部において〇〇〇について研究</p> <p>平成〇〇年〇〇月</p> <p>平成〇〇年〇〇月 〇〇会社〇〇研究所において研究 現在に至る</p> <p>職 歴</p> <p>平成〇〇年〇〇月 〇〇大学〇〇学部〇〇学科助手に採用</p> <p>平成〇〇年〇〇月 〇〇大学〇〇学部〇〇学科助手辞職</p> <p>平成〇〇年〇〇月 〇〇株式会社〇〇研究所入社 現在に至る</p> <p>賞 罰</p> <p>(なければ「なし」と記入すること)</p>				

本人の署名 自筆のこと
印刷不可!

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

署 名

【注】学歴は、高等学校卒業以後について記入すること。

[学 位 請 求 に 必 要 な 書 類]

< 記 入 例 >

様式 3 (記入例)

令和 年 月 日

徳島大学長 殿

本人の署名
印刷不可！！

署名.....

学 位 申 請 書

このたび、徳島大学学位規則第 6 条第 2 項の規定に基づき、博士の学位を請求したいので、学位論文の審査及び最終試験を実施くださるよう関係書類を添えて申請します。

印刷不可！！

(紹介教員氏名 印)

【注】自筆とし、ペンは黒色を使用すること。

様式 5 (記入例)

学 位 申 請 調 書

- 1 申請者氏名 **** *****
 ○ ○ ○ ○

- 2 博士論文題目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究

- 3 博士論文指導者 所属職名 ○ ○

 氏 名 ○ ○ ○ ○

- 4 博士論文作成 (研究) 場所及び当時の身分

 ○○○○研究所 研究主任

- 5 現在の勤務先及び職名

 ○○○○研究所 研究主任

- 6 紹介教員 (大学院創成科学研究科創成科学専攻研究指導教員) 氏名

 ○ ○ ○ ○

- 7 通信連絡先

 ○○○○○○○○○○○○○○○○

様式 6 (記入例)

履 歴 書

記入しないこと!

報告番号	乙 第 号			
(ふりがな) 氏 名	**** * 〇 〇 〇 〇 戸籍のとおり	生年 月 日	昭和 平成 年 月 日 <u>(外国人留学生は西暦)</u>	男 女
本 籍 (都道府県名)	〇〇〇県			
現 住 所	徳島市〇〇〇・・・ (住民票の住所ではなく、 <u>今</u> 住んでいる住所)			
<p>学 歴</p> <p>平成〇〇年〇〇月 〇〇県立〇〇高等学校卒業</p> <p>平成〇〇年〇〇月 〇〇大学〇〇部〇〇学科入学</p> <p>平成〇〇年〇〇月 〇〇大学〇〇部〇〇学科卒業</p> <p>平成〇〇年〇〇月 〇〇大学大学院〇〇研究科博士前期課程〇〇専攻入学</p> <p>平成〇〇年〇〇月 〇〇大学大学院〇〇研究科博士前期課程〇〇専攻修了</p> <p>研究歴</p> <p>平成〇〇年〇〇月 〇〇大学工学部において〇〇〇について研究</p> <p>平成〇〇年〇〇月</p> <p>平成〇〇年〇〇月 〇〇会社〇〇研究所において研究 現在に至る</p> <p>職 歴</p> <p>平成〇〇年〇〇月 〇〇大学〇〇学部〇〇学科助手に採用</p> <p>平成〇〇年〇〇月 〇〇大学〇〇学部〇〇学科助手辞職</p> <p>平成〇〇年〇〇月 〇〇株式会社〇〇研究所入社 現在に至る</p> <p>賞 罰</p> <p>(なければ「なし」と記入すること)</p>				

本人の署名 自筆のこと
印刷不可!

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

署 名

【注】学歴は、高等学校卒業以後について記入すること。

様式 7 (記入例)

記入しないこと!

論 文 目 録			
報告番号	乙	第 号	氏 名 戸籍のとおり ○ ○ ○ ○
学位論文題目	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究		
<p>論文の目次</p> <p>第 1 章 序 論</p> <p>第 2 章 ○○○○○○</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>第○章 結 論</p> <p>参考論文</p> <p>主論文</p> <p>主論文とは、ただ 1 人の学位論文に用いられるものでなくてはならない。そのため、学位申請者の単著又は筆頭著者であることが望ましいが、特別な事情によってそうでない場合には、前条の共著者の承諾書を提出させるとともに、審査委員はその事情を専攻教授会で説明するものとする。</p> <p style="text-align: right;">【博士学位審査に関する内規第 1 0 条の規定準用】</p> <p>副論文</p> <p>副論文とは、学位申請者が参加した研究の成果を共同執筆した同種の公刊論文をいう（単著又は筆頭著者であることを問わない。）。申請者が筆頭著者として執筆し、著者自身が発表した国際会議論文なども含む。</p> <p style="text-align: right;">【博士学位審査に関する内規第 1 1 条の規定準用】</p>			

備考

- 1 論文題目は、用語が外国語のときは日本語訳を付けて、外国語、日本語の順に列記すること。
- 2 参考論文は、論文題目、著者名、公刊の方法及び時期を順に明記すること。
- 3 参考論文は、博士論文の場合に記載すること。

様式 8 (記入例)

**報告番号欄は
記入しないこと!**

論 文 内 容 要 旨

報告番号	乙 第 号	氏 名	戸籍のとおり ○ ○ ○ ○
学位論文題目	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究		
内容要旨			
和 文 1 , 2 0 0 字 程 度 , 又 は 英 文 6 0 0 語 程 度			